

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：舞鶴市

プロジェクト名	「仕事をつくり、安心して働けるようにする」プロジェクト	実施期間	平成28～30年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	本市は古来から海とともに発展し、戦前は軍港のまちとして、戦後は海上自衛隊の基地のまちとして国策に基づく大きな性格づけがなされてきた。そうした中、本市の特徴である港湾を中心とした人・物・情報の交流拠点としての機能の充実に求められている。 また、地域経済活動を活性化させるためには、企業の誘致、既存産業・企業の支援、働く場の確保等、雇用環境の向上と事業活動の安定化を図ることが重要である。そして、後継者不足等により衰退する一次産業や個人商店を活性化させるために、本市が有する豊富な地域資源を最大限に活用することにより、付加価値と魅力を持ったサービスの生産・供給につなげ、市民だけでなく、市外からの集客による消費、市外のマーケットでの消費につなげる等、経済規模の拡大も必要である。 「赤れんが」や「海・港」、さらにはユネスコ世界の記憶に登録された引揚記念館収蔵資料や日本遺産に登録された数々の歴史遺産を活用したまちづくりに取り組みとともに、そうした魅力を広く発信することにより、交流人口の拡大を図り、拡大した交流人口の地域内消費を増加させる取組が必要である。						
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ■日本海側拠点港「京都舞鶴港」を活かした産業の振興 ■「赤れんが」「海・港」を核とした観光産業の振興によるビジネス創出と観光消費の拡大 ■歴史・文化都市創出への取組 ■ものづくりをはじめとする商工業の振興による経済規模の拡大 ■ブランド力の高い農林水産業の振興による経済規模の拡大 						
	総事業費（千円）	599,529	本年度事業費（千円）	199,843	交付金額（千円）	91,141	
プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	京都舞鶴港を活かした産業振興事業	交付対象事業	クルーズ対応事業委託費 他市との連携によるクルーズ誘致の実施 おもてなし強化事業 国際交流活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・3大都市圏（大阪、名古屋、東京）で日本海クルーズに関するセミナーを実施（3会場延べ728人参加） ・日韓の日本海沿岸5都市による日本海クルーズの魅力伝えるパンフレットを作成（1万部） ・ナホトカ市青少年文化交流団来訪（14名） ・大連市中日韓友好都市市民親善卓球大会へ舞鶴市選手団を派遣（10名） ・大連市の画家訪問団が来訪（6名） ・ポーツマス市訪問青少年英語研修の実施（9名） 			
	特色ある観光ブランドづくり事業	交付対象事業	新たな地域消費を創造する観光産業の育成、周遊観光バスの運行 赤れんがハーフマラソンの開催 着地型観光の推進、海の京都観光推進事業 公共交通利用の誘客企画への支援 観光ブランドプロモーションの実施 広報活動経費	土産品等の商品開発への補助件数9件 FMラジオによる観光・イベント情報の発信（毎週）。 公式PR動画の作成。 舞鶴赤れんがハーフマラソン2016 参加者数2,219人(10/10開催)			
	歴史・文化の伝承・発信事業	交付対象事業	赤れんがパークブランドマネジメント、赤れんがパークの整備、舞鶴の絵地図の刊行、引揚記念館の整備、日本遺産の活用、赤れんがパークでの企画展の開催、文化のまちづくりの推進、文化事業団への補助	赤れんがパーク整備事業：5号棟建具塗装工事ほか2件、日本遺産の活用（構成文化財マップの作成、日本遺産WEEK関連事業、東京フェス関連事業ほか） 『舞鶴の絵地図』の刊行（3/31、1000部） 赤れんがパーク企画展『田辺龍城一もうひとつの天下分け目』の開催（会期：3/4～3/29、入館者数6563人） 文化のまちづくり：アートスタート（3/3、3/29）、ジャズカフェ（10/22、10/23）、吹奏楽指導者育成講習会（1/16、1/17） 舞鶴引揚記念館第2期整備事業に向けた増築工事設計業務及び展示リニューアル基本実施設計業務などの実施			
	地場産業（商工業）強化事業	交付対象事業	商店街イノベーション推進事業、ものづくり中小企業の設備投資促進、新たな地域消費の創造、元気産業創出事業、「商店街ラボ」産学官連携、商工会議所との連携推進、企業誘致の実現に向けた取組	商店街イノベーション推進事業を活用した取組10件、新たな地域消費の創造事業（観光産業育成支援事業費補助金）による、元気産業創出事業8件、企業誘致の実現に向けた取組（企業訪問件数）101件 新規雇用を伴う中小企業の設備投資に対する補助1件、市内企業の販路開拓事業9件、円滑な経営支援のための水道大口受給者に対する水道料金補助3件			
	もうかる一次産業振興事業	交付対象事業	佐波賀だいのブランド化、地域農業特産振興事業、豊かな森づくりの推進、林業活性化支援事業、災害に強いハウス用地の整備、地元産食材の学校給食利用	京の伝統野菜「佐波賀だいごん」の生産振興、地域特産物生産振興事業費補助金（2団体）、間伐材搬出材積：4,000㎡（主な搬入先：林ベニヤ産業㈱、京都丹州木材市場など）、里山の広葉樹伐採及び薪加工業務（伐採面積：0.36ha、薪加工材積11m ³ ）、ハウス整備予定農地かさ上げ（793m ² ）、学校給食における地元産食材の活用			
	赤れんがパーク賑わい創出事業	関連事業	市民団体等と協働した企画開催の委託経費	<ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴赤れんがパーク夏休み5号棟倉庫活用事業（開催日：8月1～21日 来場者約1,500名） ・舞鶴赤れんがパーク賑わい創出（アート系）事業（開催日：10月22、23、29、30日 来場者1,059名） ・赤れんがライトアートin舞鶴2016事業（開催日：12月10日～25日 来場者約5,000名） 			
	引揚の史実継承事業	関連事業	引揚の史実を継承するための教育旅行や語り部の育成等に係る委託経費等	舞鶴引揚記念館教育旅行誘致（新規受入校16校）、語り部養成講座の開催（1/28～3/25、全12講座、受講者及び修了者20名）			
	世界記憶遺産国際ブランド推進事業	関連事業	引揚港巡回展の実施、世界記憶遺産登録1周年記念フォーラムの開催など。	全国引揚港巡回展の開催（横須賀市 9/17～25、呉市 11/24～12/6、佐世保市 3/18～3/26）、ユネスコ世界記憶遺産登録1周年記念フォーラムの開催（10/15）、世界博物館大会誘致：ミラノ大会参加（7/4～9）			
	世界記憶遺産資料保存活用事業	関連事業	ユネスコ世界記憶遺産に登録された資料をはじめ収蔵資料を後世に引き継ぐため、資料の状態調査を行うとともに、保存処理を行うための実施計画を策定する。 また、当該登録資料のレプリカを作成する。	ユネスコ世界記憶遺産登録資料状態調査（ユネスコ世界記憶遺産登録資料全570点の状態調査、展示室等の環境調査 12/19～3/21）			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業	関連事業	移住定住の促進を図る民間住宅の改修によるお試し住宅の実施や、スマートウェルネスシティ実現に向けたウェアラブル端末を使用した舞鶴高専との共同研究、若者の出会いを応援する婚活支援の実施。	運動習慣のない市民を対象にウェアラブル端末を利用した支援が生活活動量の増大に有効かどうかを舞鶴高専とともに検証。また、市が直接婚活イベントを2回実施している。			
	地方創生拠点整備事業	関連事業	赤れんがパーク周辺一帯等の今後の活用基本計画を策定する。	舞鶴市赤れんが周辺等まちづくり基本計画を策定			
	歴史文化基本構想策定事業	関連事業	本市の文化財総合調査を実施するとともに、専門家や住民等による基本構想策定懇話会を設けて検討を進め、文化財の周辺環境も含め総合的に保存活用するための基本構想を策定する。	歴史文化基本構想策定懇話会の開催（4回）、「舞鶴市歴史文化基本構想（案）」の作成、全自治会対象アンケート調査の実施、大学教員等による現地調査の実施（2回）			
	住民協働事業						
住民が取り組む							

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：舞鶴市

事業					
成果指標①	成果指標の目標数値	クルーズ客船の寄港回数（20回）		成果指標の実績値 (28年12月31日時点)	17回
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	日本海側を定期周遊するクルーズが達成され、全体の数値を押し上げたため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	京都舞鶴港発着クルーズ回数（6回）		成果指標の実績値 (28年12月31日時点)	13回
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	日本海側を定期運航する舞鶴発着のクルーズが達成されたため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	
成果指標③	成果指標の目標数値	コンテナ年間取扱量の充実（15,000TEU）		成果指標の実績値 (28年12月31日時点)	11,453TEU
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	新規利用貨物が増加し、前年度を約3,000TEU上回り、過去最高を更新した。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	
成果指標④	成果指標の目標数値	フィルムコミッション対応件数（50件）		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	問い合わせ68件、撮影33件（映画3件、テレビ26件、その他4件）
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	問い合わせ案件を丁寧に対応することで業界内の評価につながり案件が増えた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	
成果指標⑤	成果指標の目標数値	赤れんがパークの来場者数（50万人）		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	620,129人
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	赤れんがパークにおいて、ブランド力の向上を目的とした複数のイベントプロモーションを実施した結果、目標とする来場者数を大幅に更新することができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	
成果指標⑥	成果指標の目標数値	市制度の活用による創業事業所数（20事業所）		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	17件
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	関係機関との連携を強化し、制度の周知等に努めた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	
成果指標⑦	成果指標の目標数値	新たな商品開発に取り組む事業所数（30事業所）		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	11件
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	商工会議所と連携し、商品開発を含む事業所支援に取り組んだ。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	
成果指標⑧	成果指標の目標数値	来街目的の創出による新たな来街者数（12,000人）		成果指標の実績値 (29年12月31日時点)	新たな来街者5,771人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	様々なコンテンツ創出、周遊策の実施により、来街者数の増加に取り組んだ	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	
成果指標⑨	成果指標の目標数値	万願寺甘とうの栽培面積（800a）		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	688.7a
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	平成27年度（644a）と比較すると10.7%増加。今後、園芸施設集積地（小俣地区）や新規就農者の栽培面積拡大を支援する。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	
成果指標⑩	成果指標の目標数値	京のブランド産品認定件数（累計6品）		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	3品
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	佐波賀だいこんは、栽培面積の拡大と安定した流通の確保を継続して支援する。育成岩がきは、育成用種苗の安定確保により、出荷量の安定化を図る。さわらは、規格を統一し、差別化を図る。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	
成果指標⑪	成果指標の目標数値	間伐材搬出量（4,500m ³ ）		成果指標の実績値 (29年3月31日時点)	4,000m ³
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	効率的に間伐施業できる事業地の確保及び搬出材積の増加を支援する。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	京都舞鶴港発着クルーズや赤れんがパークの来場者数は既に目標を達成しており、京都舞鶴港を活かした産業振興事業でのPRや歴史・文化の伝承・発信事業でのイベント企画・拠点整備等の取り組みによる効果があった。一方で、来街者数の増加が課題となっており、赤れんがパーク等の観光拠点に留まらず、まちなかへの周遊策の強化が必要である。また、地場産業の強化事業により、新規創業や新商品開発は着実に成果を上げているものの、もうかる1次産業の確立に向けた事業展開が必要である。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：舞鶴市

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	世界記憶遺産に認定された引揚記念館収蔵資料や赤れんがパーク等、魅力的な観光コンテンツを活かし、観光客増に成果があった。
	府と市町村等との連携に資する成果	京都府及び一般社団法人京都舞鶴港振興会と連携の下、効果的なポートセールス、クルーズ誘致の実施等により、一定のコンテナ取扱数の確保を図ることができた。
	住民の自治意識を高める成果	
	リーディング・モデル成果	近代化遺産である赤れんが倉庫群を中心として、赤れんがパークを一体的に整備するとともに、サマーイルミネーションや冬期のスタンドグラスなど、年間を通じて様々な仕掛けを施すことで、観光戦略拠点としての魅力及び機能性を存分に発揮することができた。
	広域的波及成果	クルーズ船寄港回数増により、京都府北部地域・京都市内等への観光客増に成果があった。また、コンテナ年間取扱量も順調に増加しており、京都舞鶴港の利用促進により、京都府北部地域の産業振興にも一定効果があったと考えられる。
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。